

平成 23 年 12 月 13 日 00044 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804

Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター 【事務局情報】NPO 法人登記完了!!

8月12日より申請をしていた特定非営利活動法人格が12月2日に認証され、12月8日に登記が完了しました。関係各所への届出も昨日12日に全て完了したので、晴れて北見市武道振興協会がNPOとして産声をあげました。

【NPO法人認定後初理事会の開催】平成23年12月20日(火)午後7:00北地区公民館において、法人認定後初となる理事会を開催いたします。出欠の確認は、メールにて案内を配信しています。

【柔道】グランドスラム・東京】9日・10日・11日と行われた柔道グランドスラム・東京は、男女14階級中11階級が金を獲得し、男子重量級に課題が多少残るも上々の結果と言えそうです。この大会の前身は【嘉納治五郎杯国際柔道選手権大会】で、男子のみの大会でした。2007年、福岡国際女子柔道選手権大会を吸収して男女とも参加する【嘉納治五郎杯東京国際柔道大会ワールドグランプリ】となりました。2009年、柔道のランキング制とIJFグランプリシリーズの導入に伴い、夏季オリンピック・世界選手権大会・ワールドマスターズに次ぐ位置付けのグランドスラム大会となり、名称も【グランドスラム・東京】に改められ、審判規定も国際ルールとなり、畳や柔道着の色が変わり、目に着きます。特に大きな変化は、脚をいきなり攻撃すると、一発「反則負け」になってしまうところです。穴井隆将選手を破った韓国のファンヒョテ選手も決勝戦で反射的に放った肩車で足を抱えた為に反則負けとなりました。積極的攻撃が求められる近代柔道では、消極的な姿勢は反則指導の対象です。北海道出身の女子63kg級上野順恵選手は指導で金を逃し、妹の上野巴恵選手(70kg級)は積極的に攻め優勝でした。日本柔道は、国際化と共に変化を余儀なくされていますが、嘉納治五郎の精神は受継がれています。



【北見市総合武道祭レポート】⑥剣道

木刀による剣道基本技稽古法を披露した8名の演武者に感想を頂きました。杉本裕哉(小6・2級)やる前は緊張したけれどやり終わったら「短かったな～」と思った。次は1級を取るために頑張りたいと思います。八木原忠彦(小6・2級)最初は緊張したけれど、色々な経験が出来ておもしろかったです。畑野良太(小6・2級)緊張したけれど「木刀の剣道基本技稽古法」を間違えずにできたので、良い経験ができた。芦原咲月(小5・4級)私はお客さんが見ている緊張しました。でも成功して良かったと思います。竹村章弘(小6・2級)木刀で基本打ちをしました。何度も練習し自信はありましたが、緊張しました。加藤雄寛(小6・3級)練習では、皆となかなかうまく合わなかったけど、本番では、うそみたいに合ってた良かったです。加藤澤奈(小5・4級)私は武道祭に出てとても緊張しましたが、稽古通り上手にできてよかったです。富山智加(小5・6級)木刀の稽古をやっている、覚えるのが難しかったです。また来年も武道祭に出たいです。

